

平成25年度
(第3四半期)

広貫堂グループ IR情報

株式会社 広貫堂

○ 事業の概況 (業績、事業運営等の概況)

(財務面)

売上面では、前年同期比99.0%、計画比96.8%の実績で推移いたしました。経常損益においては、前年同期比600万円の増益、計画比4200万円の減益となりました。項目としては、販売管理費面においてはコスト削減が順調に進み前年同期比1億8300万円の減少、製造原価も稼働率の向上により、前年同期比6600万円の減少となりました。しかしながら、経常利益は助成金等の雑収入が1億9200万円減ったことにより、前年同期比600万円増加するにとどまりました。

(事業運営面)

製造受託事業が前年同期比105.2%の増加となりましたが、グループ会社への売上が伸び悩みました。

○ 課題への取組み

本社4部門の各目標を達成するため、進捗管理をより推進します。また、販管費・製造原価の削減努力を継続的に実施しながら、売上増加に努めます。

○ トピックス、適時情報

- クチコミ新発見！旅ぶらにて春々堂放映
- 講談社「路面電車の走る街」にて薬膳を学ぶ、薬膳を食べるに掲載
- 伊勢丹浦和店「富山のとおき物語」に出店
- 14歳の挑戦 職場体験学習の受入を実施
- 広貫堂ベトナムで市場調査を本格化

○ 業績の概況 (広貫堂・単体) (第3四半期、平成25年4月～12月) (千円)

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
売上高	8,244,576	8,205,828	8,679,992	8,596,369
経常利益	-150,462	-210,310	25,345	31,737

広貫堂グループ

○ 連結経営成績に関する定性的情報

売上面においては前年同期比98.9%で1億1400万円の減少、年間目標額の96.3%の進捗状況です。減少要因としてはドリンクの売上が好調だった日本薬剤、製造受託が好調な医薬品事業部以外の配置販売業で売上が減少していることが挙げられます。売上原価は、前年同期比0.69%減少しており継続的に原価率の低減を目指します。また今年度は助成金による雑収入がなくなったにもかかわらず、経常利益前年同期比3億2900万円の増益と推移しております。これは9月末に返品調整引当金の戻入を行った要因も含まれているためであります。

第4四半期も販売の強化と販売管理費の削減に努めて取り組んでまいります。

○ 業績の概況 (広貫堂グループ・連結) (第3四半期、平成25年4月～12月) (千円)

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
売上高	10,399,273	10,388,842	10,799,805	10,685,089
経常利益	-43,983	-139,583	-151,612	178,082

平成25年度
(第3四半期)

広貫堂グループ IR情報

グループ各社

薬都広貫堂 株式会社

○ 事業の概況 (業績、事業運営等の概況)

(財務面)

昨年度発売した商品については順調に推移しておりますが、既存配置用医薬品の低迷に有効な打開策が取れず、売上高は前年比89.8%、目標比90.5%となりました。経常利益は期首に引当てた、返品調整引当金および一般債権に対する貸倒引当金の戻入により増益となりました。

(事業運営面)

配置市場に求められる製品を開発し、販売すること、および製品の適切な統廃合を推進します。また、懸場保全はもとより、製品とサービスを組合せた新たな配置ビジネスモデルの構築に取り組みます。

○ トピックス、適時情報

1. 新発売(4~12月)

第2類医薬品 : 春寿S

健康補助食品 : うつくし堂シーセレクトプレミアム

○ 業績の概況 (第3四半期、平成25年4月~12月)

(千円)

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
売上高	2,822,681	2,672,538	2,650,010	2,379,516
経常利益	57,384	46,623	6,078	93,809

日本薬剤 株式会社

○ 事業の概況 (事業運営、業績等の概況)

(財務面)

売上高は、100mLドリンクなどの販売増が寄与し、前年同期比106.0%の38億2200万円となりました。経常利益は前年同期比81.8%の7700万円となりました。

(事業運営面)

ヘルスケア事業部および食品事業部では市場ニーズに応えた製品の開発を進めております。年間を通じて順次製品を上市しております。

○ トピックス、適時情報

1. 新発売(4~12月)

医薬品 : 100mLドリンク 4アイテム、かぜ薬 1アイテム、胃腸薬 1アイテム、葛根湯内服液 4アイテム

食品 : 経口補水液500mL 1アイテム、炭酸飲料120mL 1アイテム

○ 業績の概況 (第3四半期、平成25年4月~12月)

(千円)

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
売上高	3,182,650	3,413,364	3,606,619	3,822,744
経常利益	113,453	136,725	95,106	77,791

平成25年度
(第3四半期)

広貫堂グループ IR情報

グループ各社

広貫堂薬品販売 株式会社

○ 事業の概況 (業績、事業運営等の概況)

(財務面)

売上面では、営業拠点規模の縮小を進めつつ前年同期14億8800万円に対し14億9400万円、同期比100.4%となりました。経常損失は、大幅な人員削減に取り組み人件費圧縮の効果が反映し前年同期1億5400万円に対し8100万円となりました。

(事業運営面)

地域戦略の一環として、各営業所の顧客層、地域に合った新規取扱商品を営業所からの要望を吸い上げる形でレスポンスよく導入しています。(例、ウェストハーフ、エアーレスキュー、植物由来のグルコサミンパウチ等)

○ トピックス、適時情報

1. 毎年恒例のお客様還元「年末お楽しみ袋」が今年は例年以上に好評でした。

○ 業績の概況 (第3四半期、平成25年4月～12月)

(千円)

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
売上高	1,455,087	1,465,163	1,488,220	1,494,250
経常利益	-24,761	-60,192	-154,592	-81,104

トキワ広貫堂 株式会社

○ 事業の概況 (業績、事業運営等の概況)

(財務面)

売上面では、前年同期比95.1%となりました。経費面につきましては、販売費及び一般管理費等のコスト削減に努めて前年同期比92.6%となりました。経常損失は、前年同期2090万円に対し1860万円となりました。

(事業運営面)

9月より、葛根湯内服液、総合感冒薬、ファイトタイムVの風邪3点セットで顧客への説明配置を強化する一方、関連商品としてシーセレクトの拡売に努めました。

○ トピックス、適時情報

1. 平成25年10月第2四半期の総括会議および第3四半期活動指針説明会を開催いたしました。

2. 平成25年10月22日10:00よりトキワ広貫堂株式会社第4回取締役会が開催されました。

○ 業績の概況 (第3四半期、平成25年4月～12月)

(千円)

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
売上高	270,423	207,749	173,062	164,628
経常利益	-16,056	-41,548	-20,875	-18,593